



2019年2月14日

各位

会社名 株式会社 A i m i n g
 代表者名 代表取締役社長 椎葉 忠志
 (コード番号: 3911 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 経営管理グループ
 ゼネラルマネージャー 渡瀬 浩行
 (TEL. 03-5333-8424)

平成30年12月期通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成30年10月26日に公表いたしました平成30年12月期通期（平成30年1月1日～平成30年12月31日）の連結業績予想と実績を比較し、下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 平成30年12月期通期（平成30年1月1日～平成30年12月31日）の連結業績予想と実績の差異

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|-------|--------|--------|-------------------------|----------------|
| | | | | 百万円 | 円 銭 |
| 予想値 (A) | 7,788 | △1,049 | △1,077 | △1,095 | △32.59 |
| 実績値 (B) | 7,314 | △1,486 | △1,509 | △1,553 | △46.48 |
| 増減額 (B-A) | △474 | △437 | △432 | △458 | — |
| 増減率 (%) | — | — | — | — | — |
| (参考) 前期連結実績 (平成29年12月期通期) | 6,829 | △2,949 | △2,947 | △2,972 | △88.59 |

2. 差異の理由

平成30年10月26日公表の平成30年12月期通期の業績予想における売上高については、株式会社スクウェア・エニックスとの共同開発タイトル『ゲシュタルト・オーディン』をはじめとした新規タイトルの配信を見込んでいたことに加えて、既存タイトルである『剣と魔法のログレス いにしへの女神』や『CARAVAN STORIES』の周年イベントによるKPI推移を考慮したため、前四半期（平成30年12月期第3四半期）比で増収増益予想（売上高2,268百万円・営業利益71百万円）としておりました。

この度、平成30年12月期通期の連結業績において、予想値と実績値の差異が生じたのは、主として、新規・既存タイトルともに売上高が想定を下回ったことが要因であります。

具体的には、『ゲシュタルト・オーディン』は、計画通りにプロモーション費用を投下したものの、競争が激化する市況の影響により新規ユーザーの獲得が伸び悩み、アクティブユーザー数が想定に達しなかったことが要因であります。『剣と魔法のログレス いにしえの女神』は、例年ユーザーが12月に開催される周年イベントを迎えるにあたり、直前月の10月～11月にかけて課金を控える傾向があるため、当四半期においては、その対応策として事前に新ジョブを追加するなどの施策をおこないましたが、アクティブユーザー数は堅調に推移したものの、課金ニーズを喚起するには至らず顧客単価、課金率がともに想定に達しなかったことが要因であります。

『CARAVAN STORIES』は、サービス後初めてとなる1周年イベントによりアクティブユーザー数は増加し、また顧客単価は計画通りだったものの、アクティブユーザーに対して幅広い課金ニーズを喚起するには至らず課金率が想定に達しなかったことが要因であります。以上の3つの主要因から、売上高全体で予想値に対して474百万円の減収となりました。

売上高の減収の結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はともに当初予想を下回ることとなりました。

以上